

## ニュージーランド金融政策（2019年8月）

### 予想外に政策金利を0.5%ポイント引き下げ

2019年8月7日

### 大幅利下げを実施し、さらなる利下げの可能性も排除せず

2019年8月7日（現地）、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は政策金利を1.5%から1.0%へ引き下げることを決定しました。利下げ自体は想定通りでしたが、利下げ幅が0.5%ポイントと市場予想の0.25%ポイントを上回ったため、発表直後の金融市場は金利低下とNZドル安で反応しました。

声明文では、0.25%ポイントの利下げを実施した上でさらなる緩和姿勢を示すのか、あるいは一度に0.5%ポイントの利下げに踏み切るのかで議論したと記述されています。ただし、今回0.5%ポイントの利下げに踏み切ったことによる利下げの打ち止め感はありません。追加利下げに積極的な姿勢を示していた前回までに比べれば緩和姿勢はいくぶん後退していますが、追加利下げの必要性も述べています。

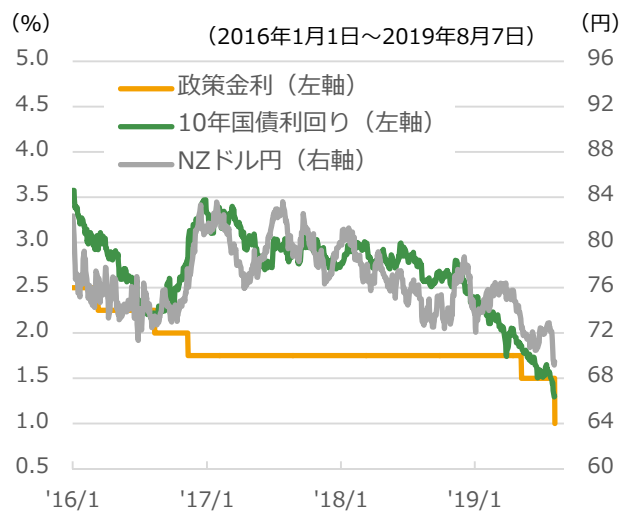
RBNZは雇用と物価を政策目標にしていますが、2019年4-6月期の失業率が3.9%に低下したこともあり、雇用は目標としている最大で持続可能な水準に近いと評価した政策委員がいました。一方、インフレ率は目標の中心値を下回り続けており、見通しの弱さに対する懸念が示されています。また、RBNZは不確実性の高まりと世界的な貿易の減少がニュージーランドの貿易相手国の経済成長を押し下げていると指摘しています。目先はこれまでの利下げの効果を見極めるために政策金利を据え置くと想定されますが、米中を中心とした通商政策の動向や国内外の景気動向次第では追加利下げも考えられます。

#### ニュージーランドの失業率



(出所) ニュージーランド統計局

#### ニュージーランドの金利と為替



※政策金利は決定日ベース  
 ※10年国債利回りとNZドル円は8月6日までのデータ

(出所) ブルームバーク

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。